

市 民 生 活

II. 市民生活

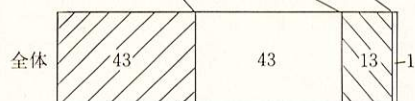
1. 環境衛生と生活安全

1) ゴミ処理

ア. ゴミの量

質問 あなたの自宅では、1年前に比べてゴミの量はふえましたか、減りましたか。

増えた	変わらない	減った	無回答
-----	-------	-----	-----



ゴミの排出量は、この1年前に比べて増えたという人が半数近く占める。変わらないという人も同様に多いが、減ったという人は10%強にとどまる。

属性別にみると、高齢者ほど減ったという比率がやや多くなるが、増えたという比率を上回るまでには至らない。ことに低年齢の子どものいる世帯、既婚の44歳以下の人は増えたという意見が、50%前後を占める。

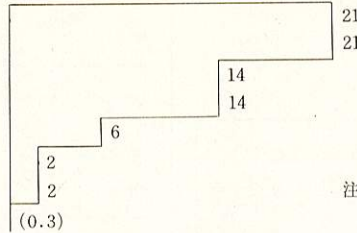
全体に減ったという意見が少なく、増えたという意見が多いことから、ゴミの量は増加の傾向にあるといえる。

		増えた	変わらない 無回答	減った
プロック	A	49		8
	B	44		17
	C	47		8
	D	38		13
	E	41		13
	F	39		14
	G	44		15
性	男	42		17
	女	44		9
年齢	未婚	38		9
	既婚 20～34	48		4
	既婚 35～44	50		11
	既婚 45～54	38		21
	既婚 55～	38		24
職業	勤労者	45		13
	自営・管理職	35		18
	主婦・専業	46		9
	勤労主婦	46		10
	無職	49		14
居住歴	出生時 20～34歳	40		6
	出生時 35歳～	45		21
	転入者 S 29年以前	42		21
	転入者 S 30～39年	44		19
	転入者 S 40～49年	45		7
	転入者 S 50年以降	41		9
住居形態	持家	42		15
	借家	48		8
	公営住宅	46		12
	アパート他	36		13
家族形態	核家族	45		13
	複合家族	48		9
	成人家族	34		15
家族構成	3歳未満児あり	51		6
	3-6歳未満児あり	53		6
	小学生あり	52		10
	60歳以上あり	42		16

イ. 増えたゴミ

質問 おもにどんなゴミがふえましたか。ふえたゴミを次の中から2つまであげてください。

1. 空かん・空びん類
2. 台所から出るゴミ
3. 新聞・チラシ・雑誌類
4. プラスチック類
5. 空箱（紙製）
6. 繊維・衣料類
7. 大型（粗大）ゴミ
8. 木箱・金物類



注）基数は全体（774）とした。

増えたゴミは「空かん・空びん類」と「台所から出るゴミ」が多い。次いで「新聞・雑誌類」と「プラスチック類」が多く、この4種類が主要となっている。属性別にみても4種類に集約されている。

「空かん・空びん類」はどの属性も20%前後の人が、増えているとしている。

「台所から出るゴミ」は主婦はそれほど増えたとしてはいないが、3歳未満児など低年齢の子どもがいる世帯では増えているという向きが強い。

その他では勤労主婦で「プラスチック類」が増えているというのが特徴的である。

		10 % 以上	空かん 空びん 類	台所から 出る ゴミ	新聞 雑誌 類	プラス チック 類	空箱 (紙製)
全 体			21	21	14	14	6
ブ ロ ッ ク	A		23	②	+ 19	13	
	B		②	19	17	13	
	C		20	②	12	18	
	D		②	17	-	13	
	E		18	②	15	13	
	F		②	18	14	13	
	G		20	②	15	13	
性	男		21	②	13	-	
	女		②	19	15	18	
年 既 婚	未 婚		②	20	11	-	
	20 ~ 34		20	+ ②	13	14	
	35 ~ 44		②	21	+ 19	+ 19	
	45 ~ 54		①	- 16	13	14	
	55 ~		②	- 14	13	-	11
職 業	勤 労 者		22	②	14	12	
	自営・管理職		①	- 13	①	11	
	主 婦 専 業		②	21	15	18	
	勤 労 主 婦		19	- 15	18	++ ②	
	無 職		+ ①	+ 27	10	13	
居 住 歴	出生時		20~34歳	①	②	+ 19	-
			35歳~	①	17	+ 19	13
	転入者		S 29年以前	①	①	12	17
			S 30~39年	+ ②	- 14	16	15
			S 40~49年	21	+ ②	13	14
住 居 形 態			S 50年以降	20	②	14	10
	持 家		20	18	14	13	
	借 家		+ ②	+ ②	14	16	
	公 営 住 宅		20	②	14	14	
家 族 形 態	ア パ ー ト 他		19	②	15	13	-
	核 家 族		②	②	15	14	
	複 合 家 族		②	21	16	18	
家 族 構 成	成 人 家 族		17	①	12	10	
	3歳未満児あり		19	++ ②	15	15	
	3-6歳未満児あり		23	++ ①	11	18	
	小 学 生 あり		+ ②	23	18	17	
60歳以上あり			②	18	16	14	

注）1. ① は全体値より15%以上高

++ " 10% "
+ " 5% "
- " 5% " 低
-- " 10% "
▲ " 15% "

2. ○囲み数字は属性間第1位

ウ. 市民のゴミ処理対策

質問 では、あなたのお宅では、ゴミ処理について何か努力していることがありますか。
次のなかからおもなことを2つまであげてください。

1. 廃品回収業者への売り渡し

2. 分別収集に協力している

3. 物を大切に使う

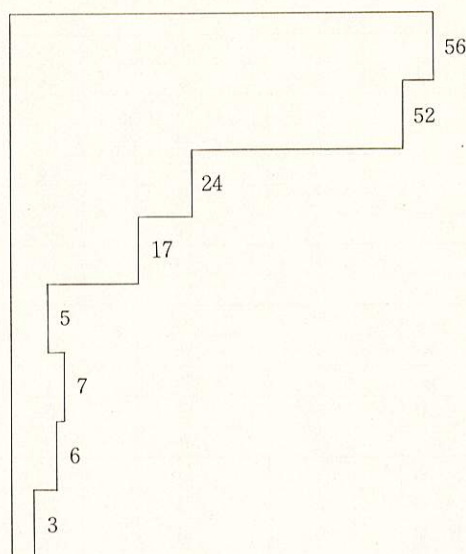
4. 家庭からゴミを減らす

5. 廃物利用

その他(自家処理も含む)

特に何もしていない

無回答



市民のゴミ処理対策としては、「廃品回収業者への売り渡し」と「分別収集に協力」の二点に集約される。次いで「物を大切に使う」という対策が多くなるが、「家庭からゴミを減らす」「廃物利用」といったゴミそのものを減らす対策は二の次とされている。これは廃物利用可能なゴミがそれほど増えていないとされていることと、減らしようのないゴミが増えているということからきていると思われるが、いずれにしてもゴミ処理対策が家庭では後手後手にならざるを得ないとみられているといえよう。なお、「その他」としては自家処理が多くみられた。

属性別にみると「廃品回収業者への売り渡し」が主体となっていることがわかる。勤労者(勤労主婦)は生活時間帯の関係からか「分別収集への協力」の方が多い。

また、ゴミの量の増減傾向からみると、増えたとしている世帯ほど「廃品回収業者への売り渡し」「分別収集に協力」への依存が高い。一方、減ったという世帯では、「物を大切に使う」とか「ゴミを減らす」という対策も比較的多くみられる。したがって、ゴミを減らすには、この2点の影響がかなり大きいともいえる。

10 % 以上		廃品回収業者 への売り渡し	分別 収集 に協 力	物を大切に 使う	ゴミを 減らす	廃 物 利 用	そ の 他
全 体		56	52	24	17	5	7
ブ ロ ッ ク	A	㊦	53	24	20		
	B	㊦	52	21	+ 22		
	C	㊦	- 47	+ 30	16		-
	D	㊦	- 44	28	18		
	E	㊦	55	22	16		
	F	52	㊦	- 19	15		+ 13
	G	+ ㊦	52	27	13		
性	男	㊦	51	24	18		
	女	㊦	52	24	16		
年 既 婚 の 婦 女	未 婚	- 47	㊦	23	21		
	20 ~ 34	㊦	50	24	14		
	35 ~ 44	+ ㊦	+ 58	26	- 11		
	45 ~ 54	㊦	51	22	21		
	55 ~	- 47	- 46	24	+ 24		+ 12
職 業	勤 労 者	53	㊦	22	17		
	自営・管理職	㊦	51	23	17		
	主婦専業	+ ㊦	51	26	14		
	勤労主婦	52	+ ㊦	24	- 10		
	無 職	- 49	49	24	++ 27		11
居 住 歴	出生時	20~34歳	㊦	-- 40	23	17	+ 11
		35歳~	++ ㊦	- 47	-- 13	19	++ 15
	転入者	S 29年以前	-- 45	- 47	25	+ 24	+ 13
		S 30~39年	㊦	52	24	13	
		S 40~49年	㊦	55	27	16	
		S 50年以降	㊦	55	22	17	
住 居 形 態	持 家	㊦	49	24	20		
	借 家	㊦	55	- 15	- 12		
	公 営 住 宅	㊦	54	+ 29	13		
	アパート他	-- 46	㊦	33	+ 22		
ゴ ミ の 量	増 え た	+ ㊦	+ 57	20	16		
	減 っ た	㊦	- 44	30	++ 27		
	変 わ ら ない	㊦	49	27	15		

注) 1. ㊦ は全体値より15%以上高

++ " 10% "

+ " 5% "

- " 5% " 低

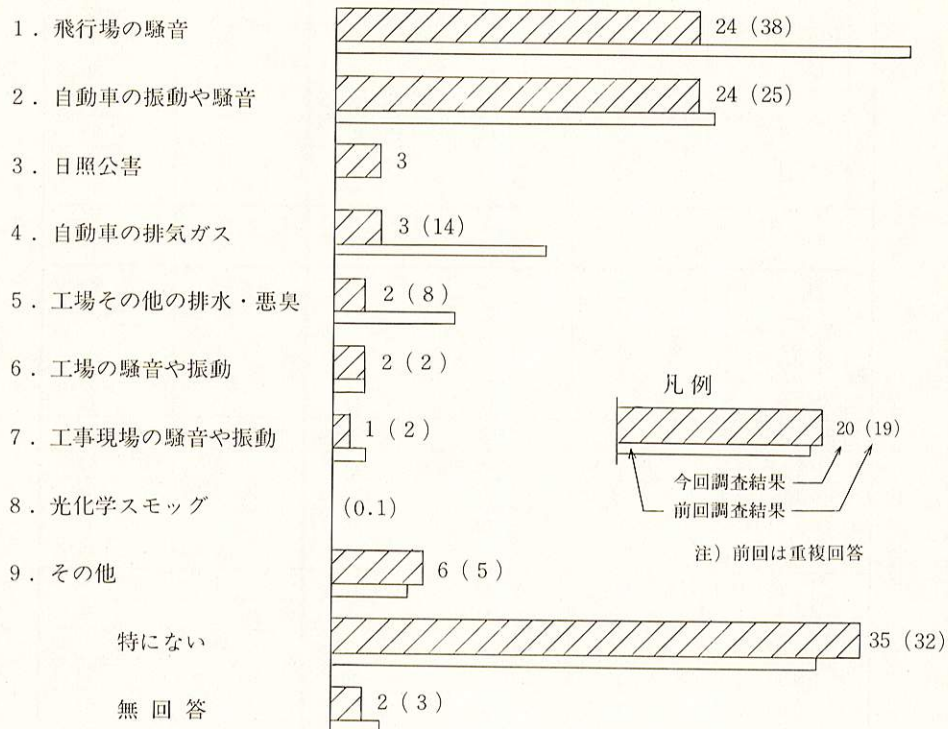
-- " 10% "

▲ " 15% "

2. ㊦は数字は属性間第1位

2) 公 害

質問 日頃あなたがお住まいになっている周辺で、次にあげる事柄のうち特にお困りになっているものがありますか。次のなかから1つだけ選んでください。



公害に対する不満は「飛行場」と「自動車」の二つが主要となっている。「工場」などへの不満は少ない。「自動車」については「排気ガス」ではなく「振動・騒音」に不満が集中している。前回調査と比較してみると、重複回答から単一回答に変わったにもかかわらず、「自動車の振動・騒音」は変わらぬ不満があがっている。「飛行場の騒音」はやや減少している。また「自動車の振動・騒音」は地域差など属性による差が少なく、全般に20%前後の不満が表われている。一方、「飛行場の騒音・振動」は地域差が激しく、A・Bブロックでは不満が著しく40%近い。また若い人や居住歴の浅い人にもめだつ。

その他としては「電車の騒音」「近隣騒音」があげられており、全般に騒音被害を強く感じており、あわせると50%に及ぶ。特に公害を感じていないという人は35%で前回とほぼ変わらない。地域的にみると「飛行場の騒音」の少ないF地区では50%近くが公害を感じていないとしている。

10 % 以上		振動や騒音 自動車の	飛行場の 騒音	特 に ない	車 公 害 計	騒音公害計
全 体		24	24	35	26	50
ブ ロ ッ ク	A	21	◎ ㉔	- 28	24	++ 63
	B	20	++ ㉔	- 27	24	+ 57
	C	24	㉔	35	24	+ 56
	D	㉔	- 16	35	+ 32	+ 55
	E	㉔	-- 13	+ 40	28	-- 40
	F	㉔	▲	++ 46	29	-- 36
	G	21	㉔	38	23	45
性	男	25	㉔	32	27	54
	女	㉔	21	38	25	47
年 齢	未 婚	27	+ ㉔	- 28	29	+ 56
	既 婚	20 ~ 34	- 19	+ ㉔	- 21	+ 55
		35 ~ 44	㉔	20	25	49
		45 ~ 54	㉔	- 17	+ 31	48
		55 ~	㉔	- 17	++ 46	-- 40
職 業	勤 労 者	㉔	㉔	- 30	29	53
	自営・管理職	㉔	- 16	++ 45	25	42
	主婦専業	21	㉔	36	23	50
	勤労主婦	㉔	-- 12	35	+ 35	47
	無 職	21	㉔	+ 44	25	43
居 住 歴	出生時	20~34歳	㉔	-- 13	++ 45	-- 38
		35歳~	◎ ㉔	-- 11	- 30	◎ 42
	転入者	S 29年以前	- 18	- 15	++ 47	▲ 34
		S 30~39年	㉔	24	33	27
		S 40~49年	21	㉔	37	24
		S 50年以降	23	++ ㉔	-- 24	25
住 居 形 態	持 家	㉔	- 18	39	28	45
	借 家	㉔	20	34	28	49
	公 営 住 宅	- 19	◎ ㉔	34	- 19	++ 60
	アパ-ト他	㉔	25	-- 22	28	+ 58
就 業 地	市 内	㉔	-- 14	+ 40	29	46
	市 外	24	㉔	- 30	27	53
	非 就 業 者	21	㉔	38	23	49
公 害	満 足	▲	- 16	◎ 63	▲	▲ 26
	不 満	++ ㉔	+ 33	▲ 11	++ 39	◎ 72

注) 1. ◎ は全体値より15%以上高

++ " 10% "
+ " 5% "
- " 5% " 低
-- " 10% "
▲ " 15% "

2. ○開み数字は属性間第1位

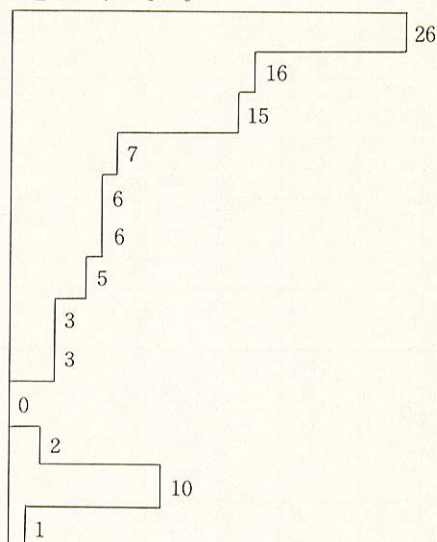
3) 震災に対する不安

質問 あなたは大地震など万一の事態に対して何か不安を感じていることはありますか。
次のなかから特に感じているところを1つだけ選んでください。

1. 火災が心配である
2. 家屋の崩壊が心配である
3. 緊急時の情報が正確に伝わるか不安である
4. 避難場所がどこかわからない
5. 救急医療について不安がある
6. 避難訓練をしたことがなく不安である
7. 道路の損壊・交通マヒが心配である
8. 近くに空地や避難場所がなく不安である
9. 住宅がたてこんでいるので不安である
10. 消火器の使い方がわからない
11. その他

特にない

無回答



震災時の不安は、震災の被害に対する不安と震災後の対応に対する不安がある。そのなかで特に不安のあるものとして回答を求めると、「火災の心配」が第1にあげられており、次いで「家屋の崩壊の心配」が高い。したがって、震災の被害に対する不安が大きいといえる。震災後の対応に対する不安としては「情報が正しく伝わるか」という不安がかなりある。これら三点への不安が群を抜いている。

その他、「避難場所がわからない」「避難訓練をしたことがない」など避難に対する不安も少なくない。回答を1つだけと限定しているため、それぞれ10%以下にとどまるが実際にはより以上の不安があるとも考えられる。また震災に対して特に不安はないという人は10%である。

「火災の心配」は各属性とも20%前後の不安を持っており、不安の第1位となっている。持家の人ではこの不安が強い。公営住宅の人は「家屋の崩壊」の方に不安がある。「情報の不安」は公営住宅、アパートなど集合住宅といえる住宅に住んでいる人ほど不安が強い。近隣関係との関連があるとも考えられる。また、勤労者、主婦、既婚の低年齢層にも情報に対する不安がみられる。「避難場所を知らない」という人は若い人やアパート生活者、借家の人、居住歴の浅い人などに多くみられる。また、広報紙をよく読んでいる人にもいくらかみえる。

「交通マヒの心配」はA地区にやや多く、居住歴の浅い人も少し持っている。しかし、「住宅がたてこんでいる」と「避難場所がない」を含めたオープンスペースに対する不安は全般にあまりない。

震災に対する不安のない人は高齢者ほど多くみられる。

ベ ス ト 5		被 害 に 対 す る 不 安				避 難 に 対 す る 不 安			緊 急 処 置 に 対 す る 不 安		特 に な し
		火 災	家 屋 の 崩 壊	交 通 マ ヒ	こ ん ど 住 宅 が た て い る	避 難 場 所 が な い	避 難 場 所 を 知 ら な い	避 難 場 所 を し た こ と が い い	情 報 の 不 安	救 急 医 療 の 不 安	
全 体		26	16	5	3	3	7	6	15	6	10
ブ ロ ッ ク	A	+ ㉓	17	+ 11					11	7	8
	B	+ ㉓	14				5		15	7	13
	C	-- 15	12					+ 12	①⑨	8	14
	D	- ㉔	18			7	7		17	8	9
	E	㉔	- 7				9	+ 11	17		13
	F	㉓	+ 21	7			6		- 10		10
	G	㉔	19				9	6	19	6	6
性	男	㉔	17				6		14	8	12
	女	㉔	15				8	7	17		8
年 既 婚 齢	未 婚	㉔	16				+ 13		9	8	8
	20 ~ 34	- 18	15				9	7	+ ㉔	9	6
	35 ~ 44	㉔	12	5			5	6	19		6
	45 ~ 54	㉓	+ 22					6	11	6	12
	55 ~	㉔	17	7			5		- 9	5	++ 22
職 業	勤 労 者	㉔	19				7		17	7	9
	自営・管理職	㉓	12	6					- 10	6	13
	主 婦 専 業	㉔	13				7	7	18		8
	勤 労 主 婦	- ㉔	19		7		8		19		6
	無 職	㉔	+ 21	+ 13			6		-- 5		+ 18
居 住 歴	出生時	20~34歳	26	++ ㉔	9		+ 13		- 9		- 4
	転入者	35歳~	㉔	15	8		6	6	19		8
		S 29年以前	㉔	+ 23	6		8		- 10		12
		S 30~39年	+ ㉓	14	-		-	7	- 9	10	12
		S 40~49年	㉔	13			6	6	+ 21		9
		S 50年以降	- ㉔	14	13		+ 13		17		10
住 居 形 態	持 家	+ ㉓	16	5					12	6	10
	借 家	- ㉔	14				+ 12	7	16		10
	公 営 住 宅	- 17	①⑨					8	①⑨	8	10
	ア パ ー ト 他	- ㉔	- 10				+ 16		+ ㉔	9	7
就 業 地	市 内	㉔	16				8		17	6	10
	市 外	㉔	18					6	15	8	11
	非 就 業 者	㉔	14				7	6	16		10
広 報 紙	くわしく読む	㉔	17				6		17	7	9
	ざっと目を通す	㉔	15	6			7		16		10
	必要などこだけ	- ㉔	16				9	6	14		9
	ほとんど読まない	㉓	15	7			7		▲	+ 15	+ 15

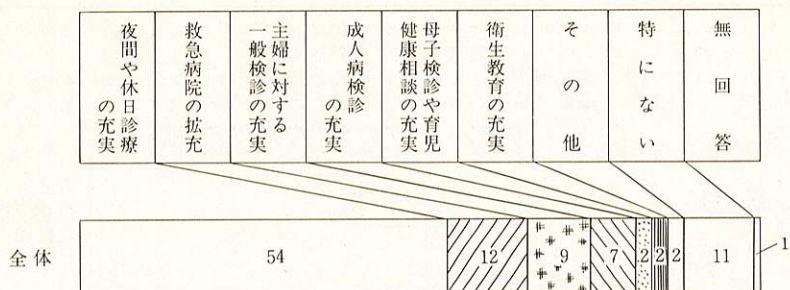
注) 1. ◎ は全体値より15%以上高

++ " 10% "
+ " 5% "
- " 5% " 低
-- " 10% "
▲ " 15% "

2. ○囲み数字は属性間第1位

4) 保健医療

質問 保健や医療について伺います。あなたが特に充実して欲しいことはどれですか。



保健・医療に対する要望は「夜間や休日診療の充実」のひと言につきるといえよう。50%以上の要望がある。次いで「救急病院の拡充」「主婦に対する一般検診」「成人病検診」の順となり、これらは10%前後の要望がある。「母子検診」や「衛生教育」に対する要望は少ない。

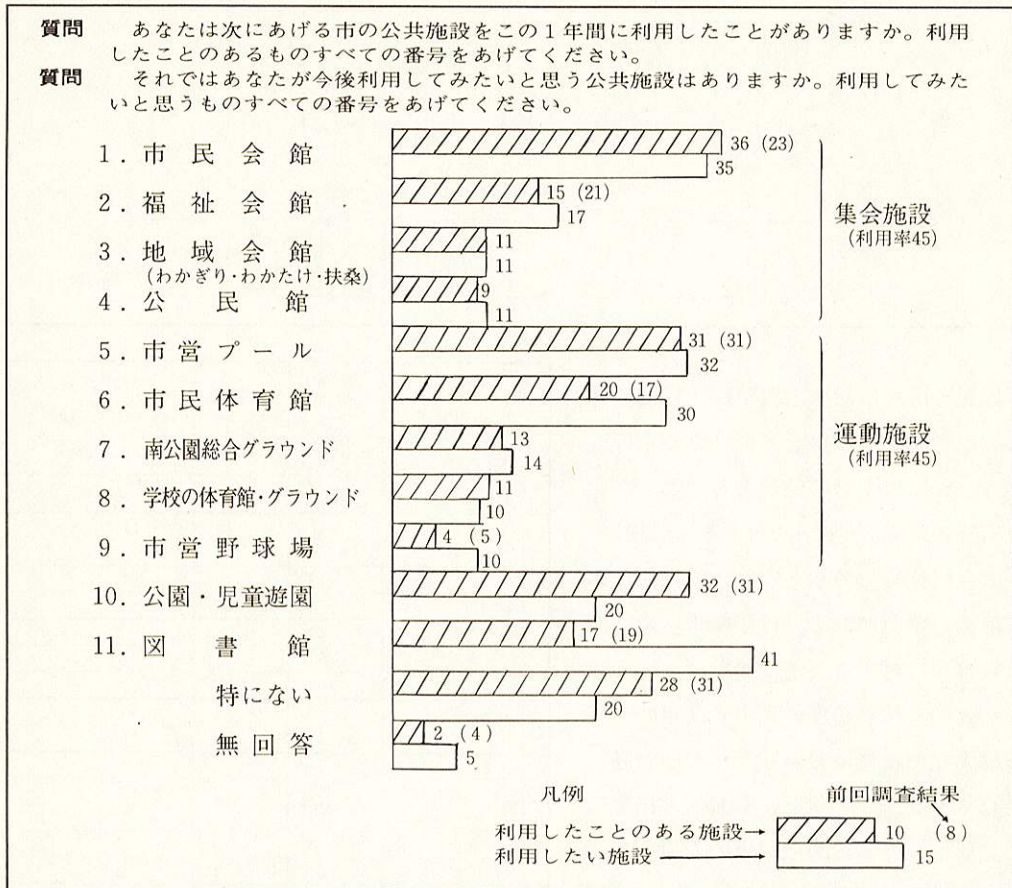
「夜間・休日診療の充実」は年齢、家族構成など属性に変わりなく要望が高い。特に要望が強いのはF・B地区と出生時から居住している34歳以下の人である。「救急病院の拡充」は高齢者に多い。「主婦の一般検診」は既婚の若い人に多くみられるが、主婦の14%以下にとどまっている。「成人病検診」は中年層にやや多くみられるが、これらの層の10%強にとどまる。

注) ◎ は全体値より15%以上高
++ " 10% "
+ " 5% "
- " 5% " 低
-- " 10% "
▲ " 15% "

10 % 以上		夜間や休日 診療の充実	救急病院 の拡充	主婦の 一般検診	成人病 検診	
全 体		54	12	9	7	
ブ ロ ッ ク	A	- 47	15	11		
	B	+ 61	14			
	C	- 49		+ 14		
	D	54	+ 17	10	-	
	E	- 46	-		++ 18	
	F	++ 66	-			
	G	53	13	11		
性	男	53	14		10	
	女	55	10	11		
年 既 婚	未 婚	58	16	-		
	20 ~ 34	54	10	+ 15		
	35 ~ 44	52		+ 15	10	
	45 ~ 54	56			11	
	55 ~	53	+ 19	-		
職 業	勤 労 者	53	13			
	自営・管理職	58	10	-		
	主 婦 専 業	56		+ 14		
	勤 労 主 婦	- 47		13		
	無 職	52	+ 18	-		
居 住 歴	出生時	20~34歳	◎ 75	13	-	
	転入者	35歳~	55	15	-	
		S 29年以前	++ 65	10	-	
		S 30~39年	51		11	10
		S 40~49年	53	11	13	
		S 50年以降	-- 44	15	10	
家族構成	3歳未満児あり	56	12	10		
	3~6歳未満児あり	54	10	+ 17		
	小 学 生 あり	52	10	+ 16		
	60歳以上あり	53	+ 19			
医療機関 の便	満足	- 49	10	10	+ 12	
	不満	52	13	10		

2. 社会教育

1) 公共施設の利用状況



公共施設の利用状況は「市民会館」が最もよく40%近い。次いで「市営プール」「公園・児童・遊園」がよく30%を超える。

全体として運動施設の利用率が高いことが特徴である。「市営プール」に次いで「市民体育館」も20%の利用があり、「市営野球場」まであわせると45%の利用率がある。これは集会施設全体の利用率とかわらない。図書館の利用率も20%近くかなりよい。

前回調査として比較してみると「市民公館」の利用率がかなりあがっている。他はほぼ変わらない。利用したことのない人も30%前後である。

今後の利用希望をみると、「図書館」への関心が強くあらわれている。利用している人17%に対し利用したい人は40%を超える。「市民体育館」も利用希望が多く、利用率20%に対し希望率が30%となる。「公園・児童遊園」は利用希望が低くなる。しかし、他の公共施設は現状の利用率と変わらぬ希望がある。

ア. 集会施設その他

集会施設は全般に中年層、持家、市内就業者の利用状況がよく、若い人や居住歴の浅い人、市外就業者などの利用状況がよい。地域差も大きい。また広報紙の精読状況との関連も強い。市民生活への関心が集会施設の利用希望に結びついているといえよう。

市民会館は昭和50年以降の転入者に目だって利用率が落ちるが利用希望はやや伸びる。

福祉会館は高齢者に利用希望が多いが30%強にとどまる。

地域会館はA・F地区の利用率がよい。主婦専業、公営住宅の人も比較的使用率がよい。

公民館はF・E地区でやや利用率がよいが、利用希望は各地区とも10%強ある。

図書館は所在地であるD地区に限らず、各地区に利用率、利用希望がある。また、居住歴の浅い人も市外就業者もよく利用している。利用希望は若い人から中年層まで広範囲にわたっている。

公園、児童遊園は、C地区、乳幼児のいる人で50～60%の利用率があるが、利用希望はいずれも低くなる。

	10%以上	市民会館		福祉会館		地域会館		公民館		図書館		公園・児童遊園					
		利用率	利用希望	利用率	利用希望	利用率	利用希望	利用率	利用希望	利用率	利用希望	利用率	利用希望				
全体		36	35	15	17	11	11	9	11	17	41	32	20				
ブロック	A	—	29	33	11	17	+23	+20		11	18	—	36	34	21		
	B		37	38	15	15	—	—		11	18	—	35	31	19		
	C	—	29	33	11	15	—	—		10	15	53	◎	49	+28		
	D	+	45	+46	+25	+25	—	—		13	+23	38	29	22			
	E		36	—	26	+20	18	—	13		17	40	▲	17	—12		
	F		40	+40	18	15	+21	+19	+15	14	14	41	—	25	18		
	G		35	31	—	10	16	13	11	10	12	19	+	49	36	21	
性別																	
男		33	36	15	19	—	—	10	—	12	17	41	32	21			
女		37	34	15	15	13	12	—	11	17	41	32	20				
年齢	未婚		34	33	17	15	—	—		11	18	52	—20	—10			
	20～34	—	30	32	—	—	12	—			18	+50	◎	51	20		
	35～44	+	45	+41	16	16	+16	+17	12	14	+25	40	+	39	24		
	45～54		32	34	14	21	11	13	11	14	—	33	▲	14	—12		
	55～		39	33	+25	◎	33	—	—	10	13	—	30	—20	18		
職業	勤労者		34	35	12	15	10	—		11	17	42	32	20			
	自営・管理職		34	38	18	+23	—	14	10	+15	17	37	—	26	17		
	主婦専業		38	34	13	14	15	+16	11	11	18	44	+	38	+25		
	勤労主婦		40	+41	—	13	—	—	—	12	13	—	34	—	27	18	
居住歴	無職		40	—	30	◎	35	—	—	—	18	37	—19	16			
	出生時		20～34歳	32	+40	17	—	15	11	11	11	+26	40	+	38	19	
	35歳～		40	+42	17	+23	—	13	13	◎	26	—	11	38	—	25	17
	S29年以前	++49	++44	+	23	++29	—	—	10	13	16	—30	—	18	17		
	S30～S39年	+	43	31	+23	19	11	10	10	12	18	38	—21	—	12		
	S40～S49年		34	35	13	14	+16	12	—	10	18	45	+	37	23		
S50年以降	▲	19	—	26	—	12	10	—	17	+50	++46	+	28				
住居形態	持家	+	43	+40	16	21	11	12	13	13	16	38	29	19			
	借家		32	31	12	—	—	—	10	17	43	35	+	25			
	公営住宅	—	29	—	28	15	16	+18	14	—	21	45	35	22			
	アパート他	—	25	35	15	15	—	—	+	15	19	+	49	30	16		
就業地	市内	+	43	38	19	21	11	13	13	+16	17	—	34	30	21		
	市外	—	29	35	11	13	10	—	10	18	45	31	18				
	非就業者		38	33	17	19	13	13	—	11	18	42	34	23			
広報紙	くわしく読む	+	43	+44	+21	+22	13	14	+	15	+16	+22	+49	—	22		
	ざっと目を通す	—	31	32	15	15	—	—	—	16	37	30	21				
	必要とこだけ	—	29	—	27	—	13	14	13	—	10	—	12	—	36	18	
	ほとんど読まない	—	30	▲	11	—	—	11	—	—	19	37	—	26	—		
家族構成	3歳未満児あり	—	28	33	—	11	—	—	—	17	+50	◎	60	◎	38		
	3～6歳未満児あり	39	42	12	17	15	13	—	11	+22	+47	◎	60	◎	36		
	小学生あり	◎	51	39	18	16	+	20	+16	10	+15	++27	41	++45	+	26	

注) 1.

◎は全体値より
15%以上高
++は全体値より
10%以上高
+は全体値より
5%以上高
—は全体値より
5%以上低
—は全体値より
10%以上低
▲は全体値より
15%以上低

注) 2.

□は施設所在地

イ. 運動施設

運動施設は施設の整っているC地区でいずれも利用率がよいが、市営プールと市民体育館は各地区から利用希望がある。居住歴の浅い人もよく利用している。

年齢別にみると45歳以上になると利用率がめだって低くなるが、35～44歳の中年層の関心の高さが特徴的である。主婦も関心が高い。

「市営プール」と「市民体育館」は各市民層ともよく利用されている。「南公園総合グラウンド」と「学校の体育館、グラウンド」「市営野球場」は中低年層までに比較的関心が高い。

集会施設から運動施設まで公共施設をどれも利用していない人、さらに利用したい施設がないという人は45歳以上の高年層に多い。これらの層は集会施設の利用率はよいものの、運動施設の利用率がよくないためである。

10%以上		市営プール		市民体育館		南公園 総合グラウンド		学校の体育館 グラウンド		市営野球場		利用 しない	利用 したい
全 体		利用率	利用希望	利用率	利用希望	利用率	利用希望	利用率	利用希望	利用率	利用希望		
ブ ロ ッ ク	A	31	32	20	30	13	14	11	10	4	10	28	20
	B	32	33	14	26	17	20	11				29	21
	C	27	24	11	23	13	13	12				28	23
	D	27	24	25	23	13	13	12				21	15
	E	16	29	20	30	12	—	—		14	30	18	
	F	30	25	21	25	—	—	—		—	30	26	
	G	29	32	21	35	12	11	17	15	10	29	20	
	H	37	33	19	31	13	15	13		13	28	17	
性	男	34	34	19	30	18	20	10		20	27	17	
	女	28	31	20	31	—	—	12	10	—	29	22	
年 齢	未婚	25	29	24	36	15	20	—	13	16	34	15	
	20～34	39	49	19	35	16	19	10	11	—	22	12	
	35～44	49	35	27	32	15	15	22	16	11	17	19	
	45～54	19	19	15	29	—	—	—	—	—	40	29	
	55～	10	11	10	13	—	—	—	—	—	36	30	
職 業	労働者	34	35	20	30	17	18	10	11	14	29	19	
	自営・管理職	27	28	23	34	12	13	10		17	32	21	
	主婦専業	34	35	21	33	—	11	15	13	—	23	18	
	勤労主婦	27	34	16	25	13	—	13		—	34	29	
	無職	13	—	—	—	—	—	—	—	—	32	32	
居 住 歴	出生時	20～34歳	36	30	30	23	19	13	11	—	28	11	
	35歳～	—21	26	28	40	26	21	15	15	15	26	23	
	S29年以前	—17	—22	12	20	—	—	—	—	—	36	25	
	S30～S39年	27	29	21	31	11	—	14	11	12	28	27	
	S40～S43年	37	33	20	30	13	15	14	11	—	26	18	
住 居 形 態	S50年以降	35	42	17	30	14	+	—	13	11	26	15	
	持家	28	27	21	30	12	11	—	—	—	27	21	
	借家	35	39	15	26	10	12	12	12	10	30	18	
	公営住宅	36	35	20	31	16	22	12	12	13	28	20	
	アパート他	29	32	19	32	17	17	15	12	13	32	17	
就 業 地	市内	25	25	25	24	23	16	14	11	—	26	24	
	市外	36	38	18	30	12	17	10	—	18	31	16	
	非就業者	30	29	18	28	—	10	12	11	—	25	21	
広 報 紙	くわしく読む	33	35	22	34	15	15	13	14	10	24	17	
	ざっと目を通す	29	31	19	26	14	13	—	—	—	31	23	
	必要などだけ	32	29	17	28	—	14	—	—	11	29	20	
	ほとんど読まない	15	—	—	22	11	22	—	—	19	37	19	
家 族 構 成	3歳未満児あり	32	42	15	32	13	15	12	—	—	20	12	
	3～6歳未満児あり	51	44	26	37	20	22	14	15	10	13	12	
	小学生あり	56	37	28	37	20	19	26	21	14	11	18	

注) 1. ●は全体値より15%以上高

++ 10%
+ 5%
— 5%
— 10%
▲ 15%

2. は施設所在地

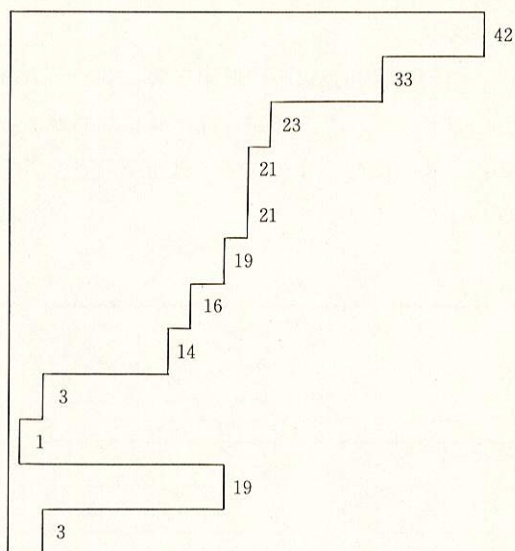
2) 公民館活動への要望

質問 市民会館・公民館ではいろいろな催しものや行事を行っていますがあなたが特に希望するものがありましたら次のなかから3つまで選んでください。

1. 映画（邦画・洋画）
2. 歌舞伎・落語・講談など古典芸能
3. ポピュラー音楽・歌謡曲
4. 演劇・人形劇など
5. 講習会
6. 講演会
7. クラシックの音楽会
8. 民族芸能・民族音楽
9. バレエ
10. その他

特になし

無回答



公民館、市民会館における催しものへの要望は「映画」が最も多い。次いで「歌舞伎・落語・講談などの古典芸能」の要望が多い。

以下「ポピュラー音楽・歌謡曲」「演劇・人形劇」「講習会」「講演会」「クラシック音楽」「民族芸能・民族音楽」の順となる。

これらの催し事に関心のない人は20%弱にとどまる。したがって多くの人は何らかの催しものに期待しているといえよう。

「映画」は年齢・職業など個人の属性にかかわらず要望が高い。

「古典芸能」は45歳以上の高年層に要望が高いが、若い人にもある。

「歌謡曲」は54歳以下の人には一様に要望があるが若い人にことに高い。

「演劇・人形劇」は44歳以下の人に支持があり、主婦にことに多い。

「講習会」は高齢者、無職の人を除いて、性・年齢・職業にかかわらず要望がある。市外就業者にことに多い。

「クラシック音楽」は44歳以下の低中年層に関心がある。

「民族芸能」はクラシックとは逆に高年層に関心がある。

これらの催し事に関心のない人は公営住宅の人や居住歴の浅い人などに多くみられるが、多くても30%以下にとどまる。

15%以上		映 画	古 典 芸 能	歌 謡 音 楽	ポ ピ ュ ラ ー 音 楽	演 劇 人 形 劇	講 習 会	講 演 会	クラ シ ッ ク 音 楽	民 族 芸 能	特 に ない
全 体		42	33	23	21	21	19	16	14	19	
ブ ロ ック	A	43	33	21	22	22	16	20	14	15	
	B	— 36	— 28	27	19	+ 27	+ 25	16		22	
	C	— 35	— 27	21	25	21	16	15		+ 24	
	D	+ + 54	+ 38	25	23	— 15	15		16	16	
	E	38	— 28	22	— 15	—	—	16	15	+ 30	
	F	43	+ + 44	+ 28	21	23	19	15	18	— 13	
	G	46	— 28	— 18	20	23	+ 25	19		21	
性	男	42	33	22	—	20	22	16	16	20	
	女	42	31	23	+ 27	22	16	16		19	
年 齢	未 婚	46	— 28	+ + 35	21	22	26	+ 22		— 13	
	既 20 ~ 34	+ 47	— 24	24	+ 27	22	—	17		21	
	35 ~ 44	44	— 26	24	24	25	22	18		18	
	45 ~ 54	— 36	+ 42	23	— 15	20	20		18	20	
	55 ~	— 36	◎ 51	—	—	—	18		+ 20	22	
職 業	勤 労 者	45	— 28	27	18	21	21	19		18	
	自営・管理職	39	+ 39	21	19	22	17		17	20	
	主 婦 専 業	42	32	21	+ 27	23	16	15		19	
	勤 労 主 婦	+ 47	— 21	+ 28	+ 27	21	18	+ 22		16	
	無 職	— 33	◎ 51	—	— 16	—	—	—	16	+ 25	
居 住 歴	出生時										
	20~34歳	+ 47	— 19	+ + 36	+ + 32	— 15	19	19	17	— 9	
	35歳~	38	+ + 45	— 15	17	17	+ 25	—	◎ 30	21	
	S29年以前	40	◎ 49	— 18	18	17	21	15	18	17	
	S30~S39年	46	+ 38	+ 29	— 16	22	16	18		19	
	S40~S49年	42	— 26	23	23	23	18	18	—	19	
住 居 形 態	S50年以降	40	— 25	22	24	22	18	17	15	+ 24	
	持 家	42	35	20	20	24	21	15	15	17	
	借 家	47	35	+ 32	+ 26	— 16	—	16		16	
	公 営 住 宅	— 37	— 26	21	17	17	19	18		+ 28	
	ア パ ー ト 他	46	29	+ 30	25	25	—	19		— 13	
就 業 地	市 内	39	36	19	21	18	16		17	21	
	市 外	46	— 27	+ 29	17	23	+ 24	+ 22		22	
	非 就 業 者	40	36	19	25	21	15			16	
広 報 紙	くわしく読む	42	+ 39	21	24	25	22	20	17	17	
	ざっと目を通す	41	— 28	25	19	21	17			23	
	必要などこだけ	44	30	23	21	— 16	18		15	18	
	ほとんど読まない	41	30	26	—	▲	—	—	—	22	

注) 1.

◎は全体値より15%以上高

++ ♪ 10% ♪

+ ♪ 5% ♪

— ♪ 5% ♪ 低

— ♪ 10% ♪

▲ ♪ 15% ♪

注) 2.

○囲み数字は属性間第1位